

腫瘍マーカー検査一覧表



人間ドック・健康診断ご予約の際にお申し込みください。事前にお申し込みください。(当日追加も可能です。)

※健康保険組合やドックコースによっては項目に含まれています。

腫瘍マーカーとは

体内に腫瘍ができると、その腫瘍によって特殊な物質が大量につくられ、血液中出现してきます。この物質を「腫瘍マーカー」といいます。

がん以外の良性疾患の影響も受けるため、がんの診断はできません。

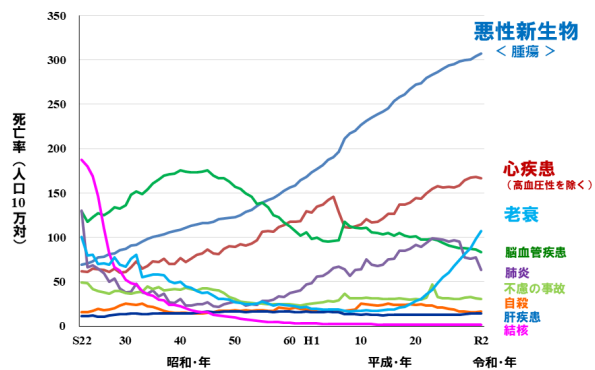
腫瘍マーカーが陽性だからといって必ずがんがあるわけではなく、反対に陰性だからといって完全にがんを否定できるわけではありません。

また臓器の特定ができないため、他のマーカーも参考にしながら超音波検査やX線、CTなどの画像診断、生検などを総合して判断します。

※PSAは前立腺に特異的なため単独検査でも有意義とされます。

項目	主な標的臓器	男性セット (消化器+前立腺) ¥12,100	女性セット (消化器+乳+卵巣) ¥16,500	消化器セット ¥9,900	婦人科セット (主に卵巣) ¥9,900	前立腺 ¥2,200	肺セット ¥9,900
CEA	胃・大腸がん、膵臓がん・肺がん 臓器の特異性は低く、消化器系を主とし幅広く上昇する。喫煙の影響も受ける。	●	●	●			
AFP	主に肝臓がん 肝炎や他消化器系でも軽度上昇することがある。	●		●			
CA19-9	膵臓・胆道がん、乳・卵巣がん 他消化器や肺などでも上昇する。糖尿病や胆石、子宮筋腫など良性疾患の影響も受ける。	●	●	●	●		
PSA	前立腺がん 前立腺に特異性が高い。	●				●	
CA125	卵巣・子宮がん 他肺・乳・膵臓・大腸などでも上昇する。子宮内膜症など良性疾患や妊娠、月経の影響も受ける。		●		●		
CA15-3	乳がん 特に再発や転移に反応する。また、卵巣や肺でも上昇する。		●				
SLX	肺がん(腺がん) 他膵臓・卵巣など腺がん全般で上昇する。比較的がん以外の要素の影響が少ない。						●
CYFRA	肺がん(小細胞がんを除く) 中でも扁平上皮がんでは初期の陽性率が高い。他乳・子宮頸がんなどでも上昇する。		●		●		●
Pro GRP	肺がん(小細胞がん) 肺小細胞がんの特異性が高い。						●

死因別に見た死亡率の年次推移



(出典:「令和2年人口動態統計月報年計(概数)の概況」2021.6.4 より作成)

【参考資料】独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

■がん罹患数の順位(2019年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	大腸※	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸※	肺	胃	子宮

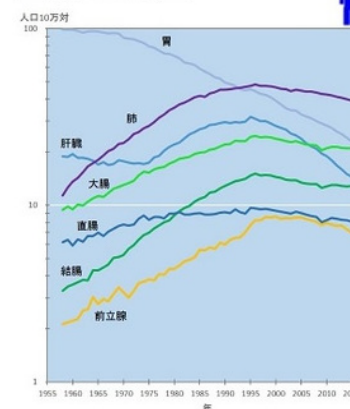
※結腸と直腸を合わせた大腸

■がん死亡数の順位(2020年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸※	膵臓	肝臓
女性	大腸※	肺	膵臓	乳房	胃

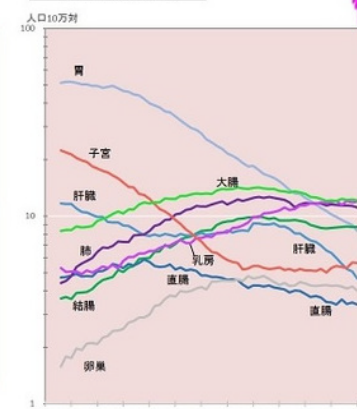
※結腸と直腸を合わせた大腸

部位別がん年齢調整死亡率の推移
(主要部位・対数)
[男性 1958~2015年]



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan

部位別がん年齢調整死亡率の推移
(主要部位・対数)
[女性 1958~2015年]



資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan